



令和3年2月2日

九州地方整備局

鎌瀬橋、坂本橋、相良橋の3橋への仮橋の設置が
令和3年5月末までに完了
～ 仮橋設置により球磨川流域市町村の生活再建を支援 ～

○令和2年7月豪雨により被災した、八代市から人吉市間の国道219号のほか県道等、流失した橋梁10橋を含む約100kmについて、国の権限代行により、災害復旧事業を鋭意進めているところです。

○現在、道路の応急復旧、流失した橋桁の撤去、現位置で応急復旧可能な鎌瀬橋、坂本橋、相良橋の3橋への仮橋設置を進めています。

このうち、3橋への仮橋設置については、令和3年5月末までに完了する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

○これにより、通学路や生活道路としての機能が回復するとともに、球磨川流域市町村の生活再建を支援してまいります。

○引き続き、早期の全線復旧に向け、全力で取り組んでまいります。

【問い合わせ先】

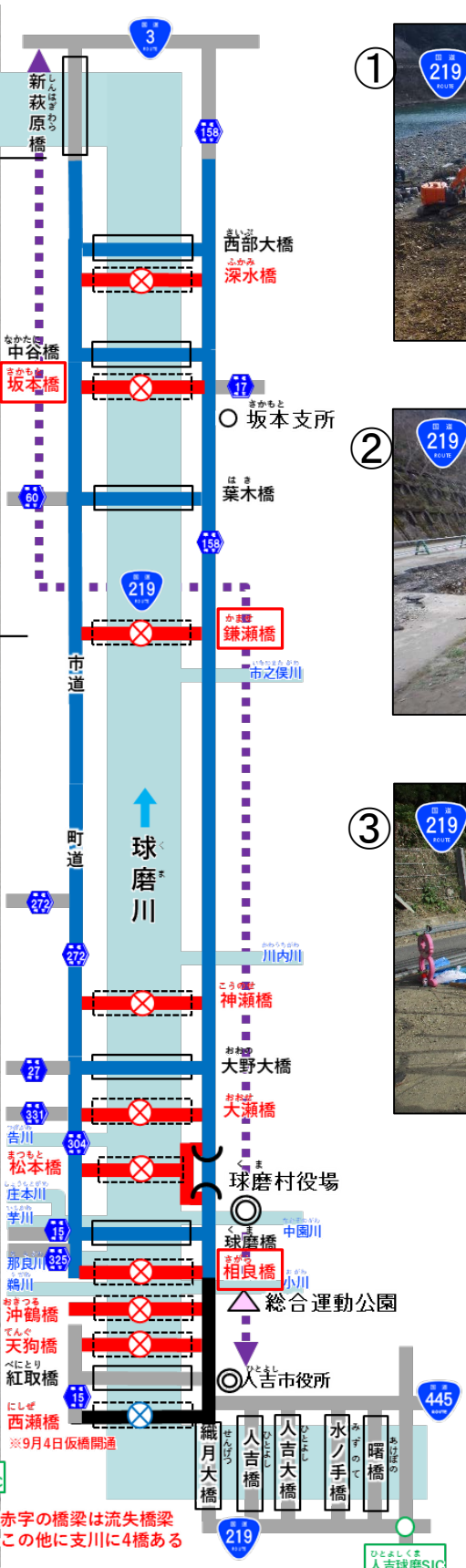
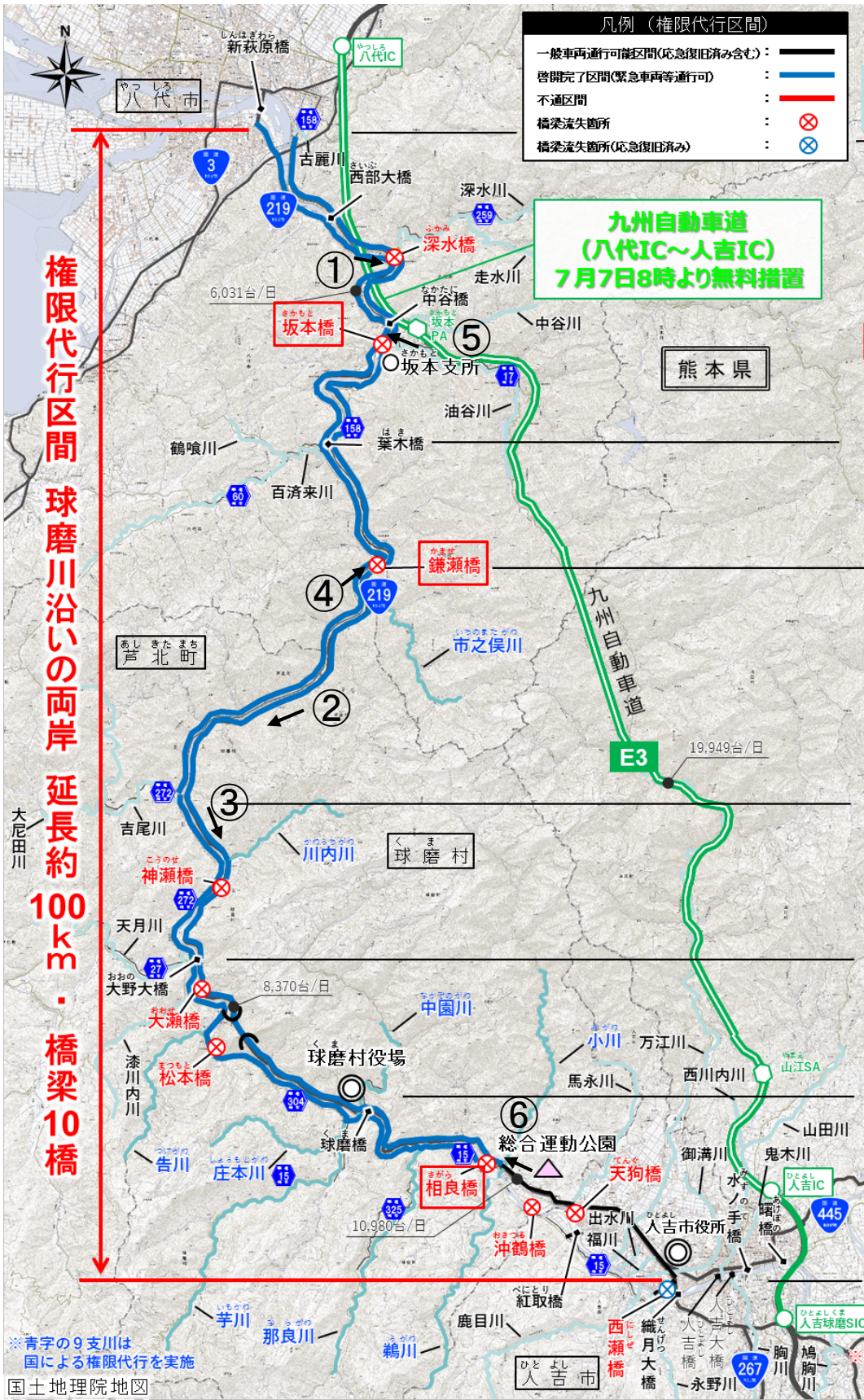
九州地方整備局 道路部 道路計画第一課課長 駒井 正樹

TEL:092-476-3529(直通)

FAX:092-476-3478

令和2年7月豪雨 国道219号等災害復旧(直轄権限代行)復旧状況

令和3年1月29日時点



- 道路の応急復旧: 球磨川兩岸道路全線
- 流失橋梁への仮橋設置: 鎌瀬橋、坂本橋、相良橋
- 流失した橋桁等の撤去: 深水橋、坂本橋、鎌瀬橋、大瀬橋、神瀬橋、相良橋、沖鶴橋

国道 219号 かませ 鎌瀬橋 被災状況

<被災状況概要>

○上部工:A1~A2間 約113.2m流失

<応急復旧>

仮設ガーダー橋による仮橋架設

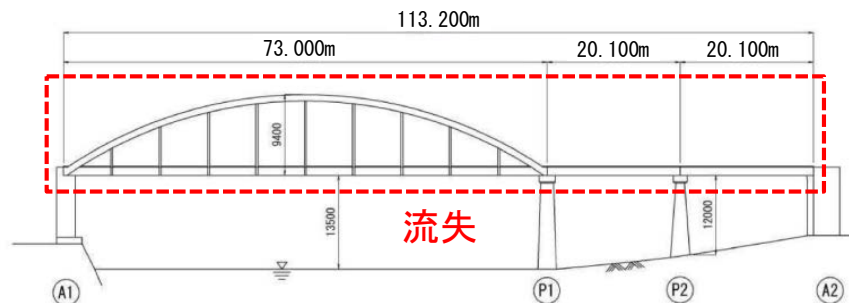
■ 鎌瀬橋諸元

橋長 : 113.2m

橋梁形式: 鋼単純アーチ橋

+ 鋼2径間鉸桁橋

建設年次: 1954年(昭和29年)



被災前の状況(令和2年6月3日時点)



至人吉

至八代

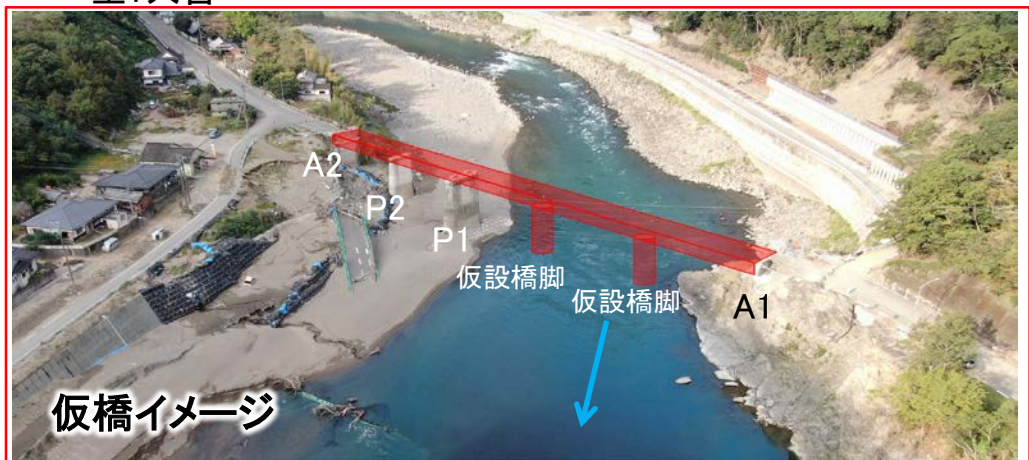
被災後の状況(上部工流失状況 A1~A2間)



至人吉

至八代

至人吉



仮橋イメージ

至八代

主要地方道 さかもと ひとよし 坂本人吉線 さかもと 坂本橋 被災状況

<被災状況概要>

○上部工:A1~A2間 約121.1m流失(車道橋・側道橋共)

<応急復旧>

仮設ガーダー橋による仮橋架設

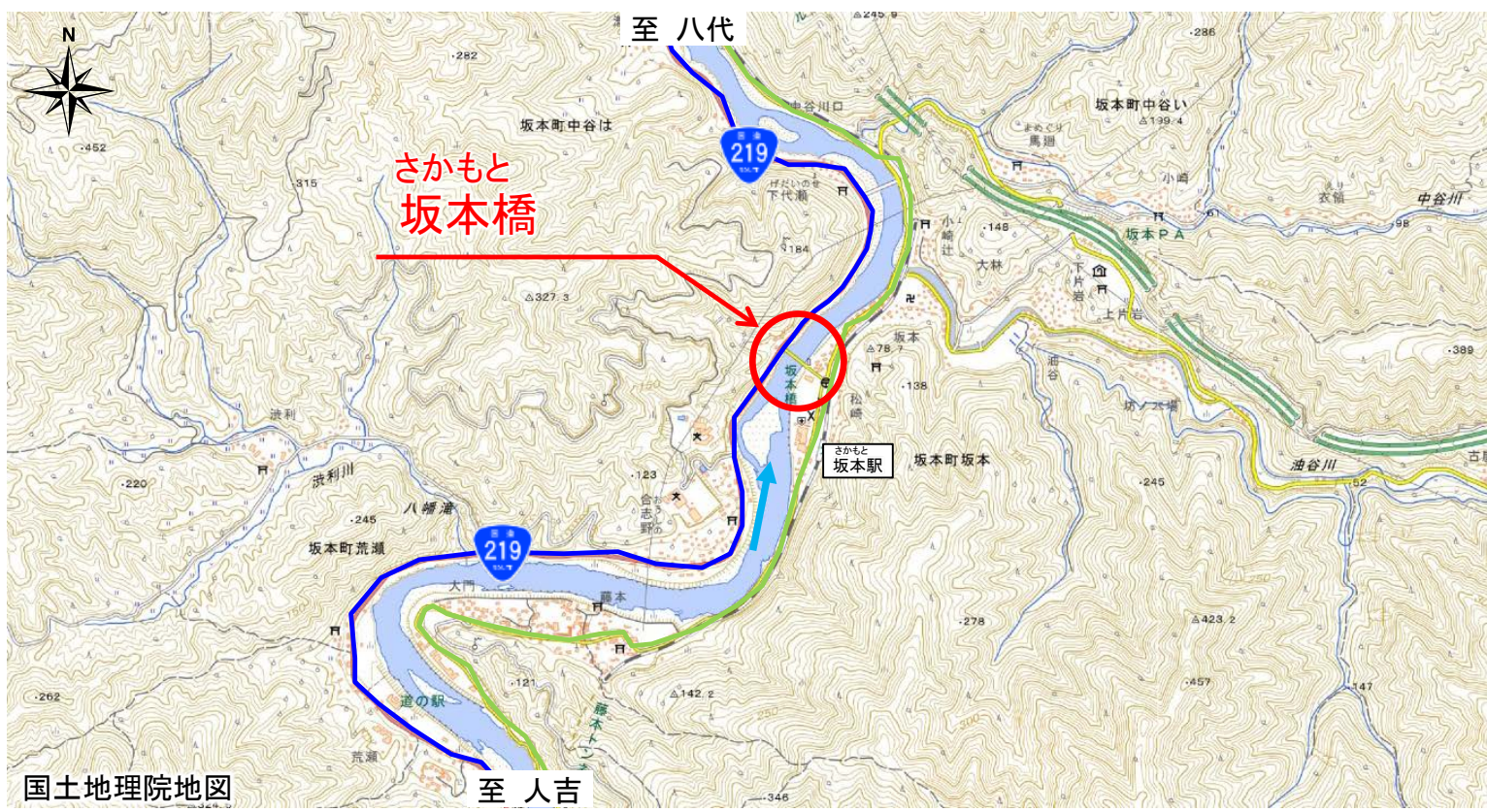
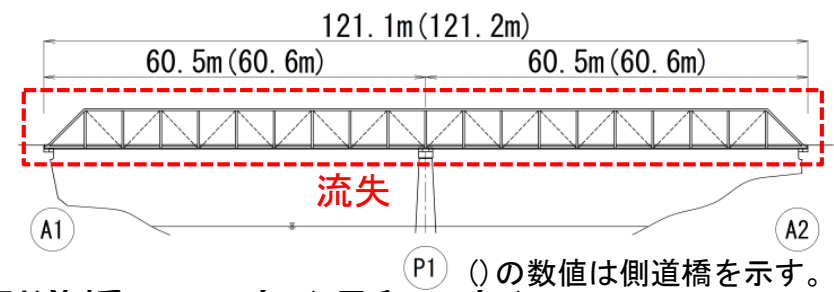
■坂本橋諸元

橋長 :121.1m

橋梁形式:鋼2径間連続トラス橋

建設年次:

<車道橋>1954年(昭和29年)、<側道橋>1978年(昭和53年)



被災前の状況(平成元年 10月時点)



至:国道219号

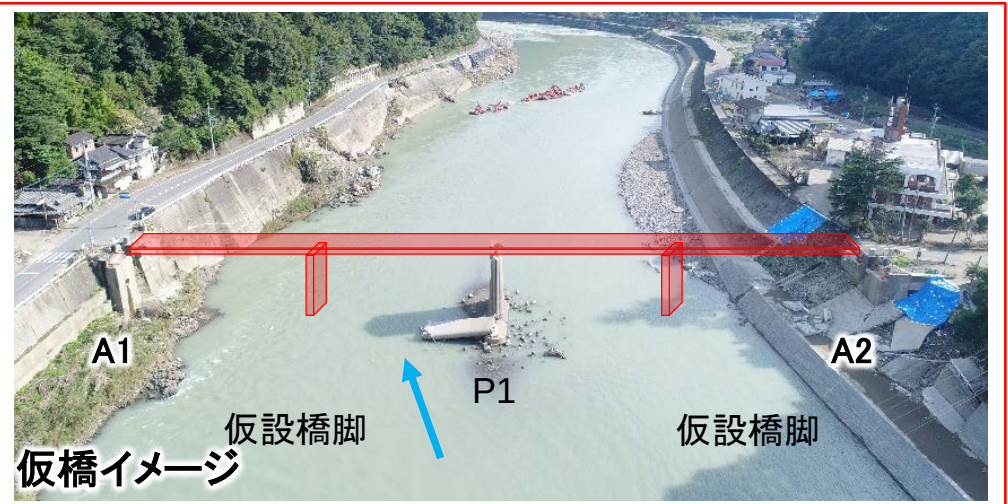
至:坂本支所

被災後の状況(上部工流失状況 A1~A2間)



至:国道219号

至:坂本支所



至:国道219号

至:坂本支所

一般県道325号 遠原渡線 相良橋 被災状況

<被災状況概要>

○上部工:P1~A2間 約110m流失(車道橋)

<応急復旧>

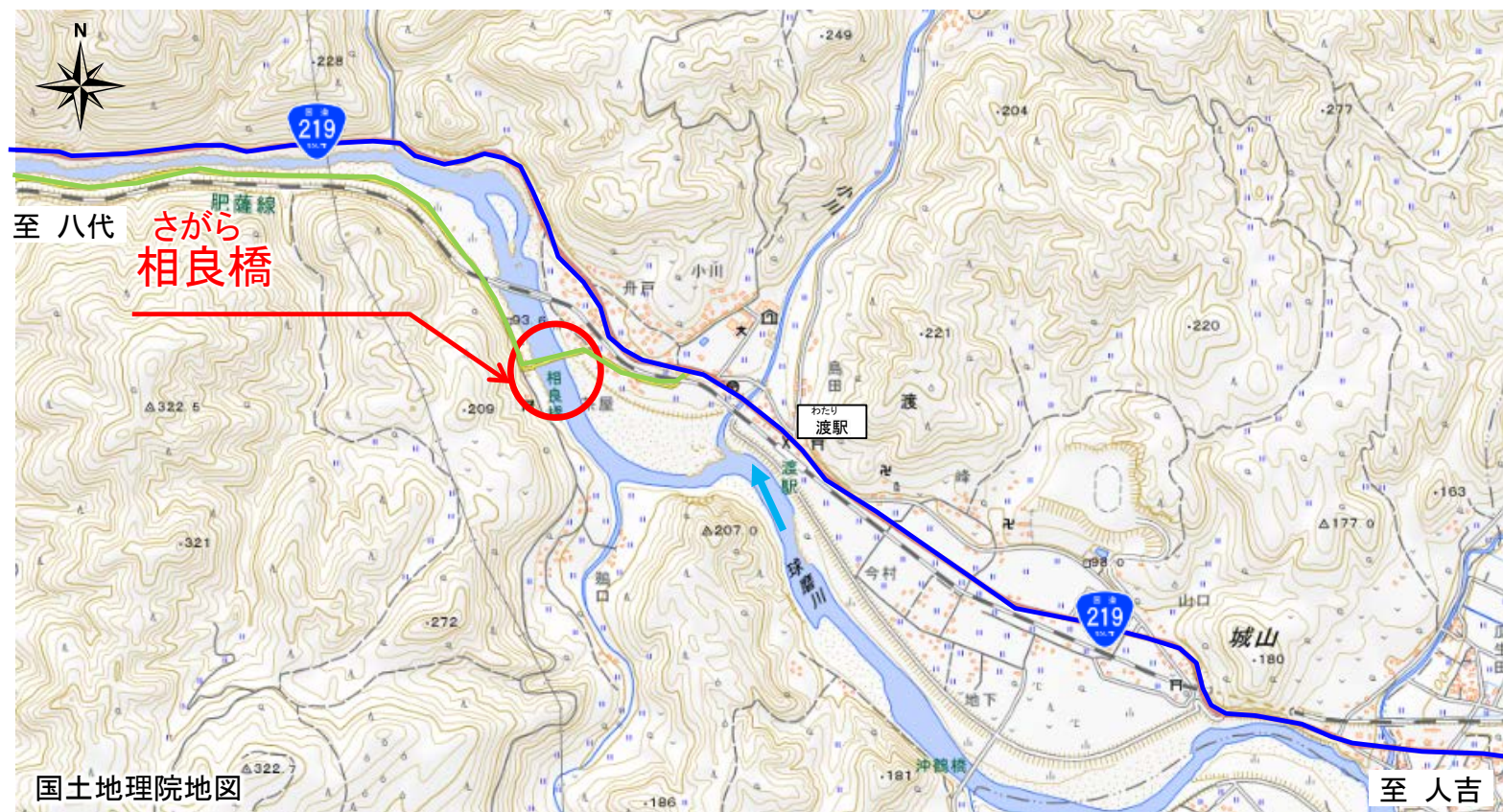
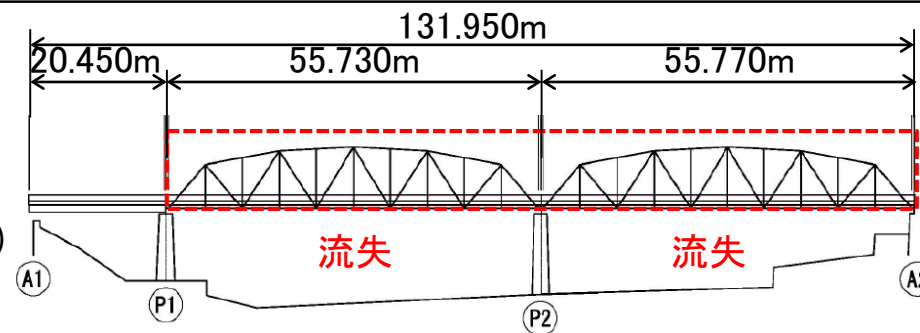
仮設ガーダー橋による仮橋架設

■相良橋諸元

橋長 : 132.0m

橋梁形式: 鋼単純トラス橋

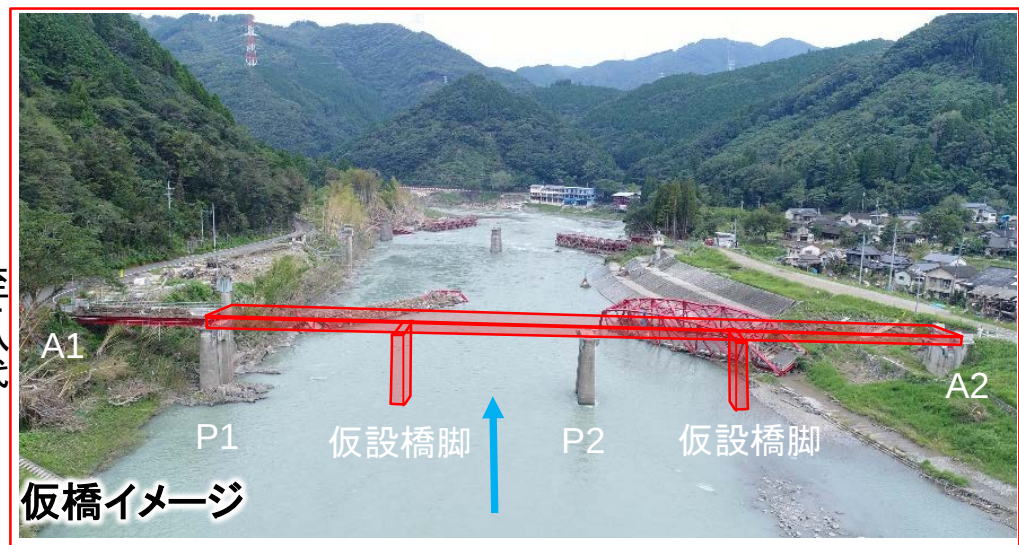
建設年次: 1934年(昭和9年)



被災前の状況(平成15年 3月時点)



被災後の状況(上部工流失状況 P1~A2間)

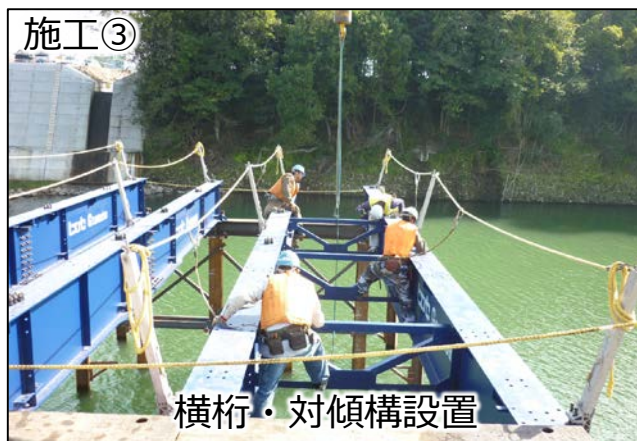


(参考)仮橋設置(仮設ガードー橋)

- 鎌瀬橋・坂本橋・相良橋の流失橋の仮橋として、被災道路を応急的に復旧し、災害復旧資材や一般車両の通行が可能。
- 桁重量が軽く組み立てが容易なため、架設・解体等の工程を短縮することが可能。

【仮橋特徴】

- ・形 式:組立式版桁橋
- ・橋長 :20~30mまで
- ・幅 員:8.0m(2mピッチで適応可能)



▲仮橋 施工状況 (参考)



写真提供元: ヒロセホールディングス (株)